



発行者

滋賀県PTA連絡協議会
滋賀県PTA安全会
会長 松浦 洋子
制作 広報 委員
印刷 広田 勝子

「なあなあ スマホに LINE、どう思う？」

県P広報委員会座談会より



スマートフォンが普及し、LINEが無料で使用できるようになり、スマホを持つ児童、生徒が急激に増えました。中学校の入学前になるとスマホを持ち始める子ども、本に必要なのかと悩む親、我が家だけで持たせないと考えても周りが持っていたら、「所持禁止令」を出してほしいと思う親等、親子の大きな課題になっています。

LINEによるいじめや、すぐ返事をしないと無視されとか、夜中までスマホに悩まされている子どもがいます。しかし使い方によっては、便利なもので家庭によっては上手く工夫されている方もあるようです。しかし個々の取り組みでは、なかなか解決しない問題もたくさんあります。

今親や教師がこの問題に真剣に考える時と思い、みなさんにこのことを投げかけた座談会の様子をご紹介します。「親として学校としてどう向き合うか」是非とも考えて下さい。

A LINEは怖いものではないけれど、ちゃんとわかれば便利なもの。
大人は、スマホのこ

とを知らずに「だめ」と言うのはどうだろうか。しかし、息子の高校がスマホ禁止になり、最初は不便かなと思っただけでアナログの生活もまたいいものだと言っている。

C 我が子とLINEをしている。使い方によってほとんどないことが起こる。それをしっかりと子どもに教える。話をし、良い悪いをわからせる。悪いサイト等へ行かなければ活用してもいいと思う。

D 使い方によっては、親が安心できるところもある。危ないこと、正しいこ



と等LINEの使い方を教えていきたい。根本には人と人との信頼と繋がりが大事だろう。

E 学校との連携なんだが「学校には、基本持つてきてはいいけど、だから、学校がスマホの取扱いを指導するのは少し矛盾がある。まずは家庭から」という学校もあると聞くが、学校も一緒に勉強してほしい。いろんな情報を共有していくことが大事ではないだろうか。

F LINEでいじめが起きていることは先生たちも存知だと思う。だから学校も一緒に考えてほしい。という思いを持つてほしい。

G テストで何点以上取ったらスマホを買ってあげる。買ってもらったら成績がダダ下がり。こんな話を聞くが、成績によって左右されるのはどうなのかな。

H 我が子は、ゲームをよくしている。家の中でだけしているが食事中も離さずしていることがあるので困っている。

I 子どもが六年生の時、家族会議をした。学校でスマホのことを教えてもらい、今はみんなは持っているが自分は持ちたくないと言っている。私自身は、いろんな講演を聞いて、子どもに言い返せるようになった。講演は大事。持たせる時が肝心。お金もかかるし、

この金額、何時間働かねばならないか等話す。

J 持たない時にルール作りをし、親もそのルールをきちんと守らせる覚悟が必要。

自分の安心と、子どもの安全のために持たせた。が「女子中学生の会」というLINEにはまり、朝の顔の様子から、疲れていることがうかがえた。それで、取り上げたら、落ち着いた以前の顔に戻った。

しかし持たせないことが長期になると、友達からものが決められない、連絡も取れないと責められ、また暗い顔つきになった。そこでスマホを持つに当たり自分でルールを書かせた。

- ・母親の前で使う。
- ・十時以降は使用禁止
- ・就寝中は使わない
- ・居間で充電する 等

K 親と子どものルールを話し合って決めることが大事である。スマホが怖い悪いではなく家庭でどうしていくかが大事。うちも携帯を取りあげたら、LINEから開放されて、楽になったと子どもは言う。

L LINEの言葉のトラブル、すぐ見ないといけない、二秒で返事を返さないといけない。グループのおさそいに参加しなかったら次回参加した時にやり取りをしなくても、そのグループから抜けた。等々子どもたちは、人間関係で悩

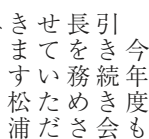


んでいる。
身の回りには、他にゲームやテレビ誘惑されるものが多い。便利なことを覚えたら戻れないが、大事なことは人と人とのコミュニケーションにあると思う。

今回スマホについて、特に中学生がこのスマホにより人間関係に悩まされ、またある子たちはゲームにのめりこんでいる等々、勉強や部活に打ち込み人間性を高めてほしいこの時期に、危機感を持ち、この問題を取り上げました。座談会には要約していますが、中には小中学生にスマホは本当に必要なのかという意見もありました。どうか、これをきっかけに、あなたの家庭・学校で考えていただき、PTA活動のひとつとして取り組んでいただけることを願っております。
(4ページに関連記事掲載)



会長 松浦 洋子



と申します。どうぞよろしく
お願いいたします。

さて、近年スマートフォンやインターネット等はその利便性から私たち大人や子どもたちにとってとても身近な存在になっています。

しかし、これらの利用によつて子どもたちがトラブルや、事件・事故に巻き込まれたり、いじめに発展するケースも少なくありません。

このためスマートフォンやインターネット等に潜む危険やその危険に対応する仕方、私たちは子どもたちとともにしっかりと学び、理解することが大切だと考えます。

また、これらの機器を子どもたちが正しく安心して利用できる環境を整えていくことも私たち大人の責任です。

そこで、滋賀県PTA連絡協議会では今年度スマートフォンやインターネット等に係る問題について、子どもたちとともに考え協議し、問題に向き合い、対応の仕方を考えていく事業を計画しております。

まずは実態を知り、その上で子どもたちへの接し方について一緒に考えてみませんか？

また、日頃の活動においても、こうした事業においても、

会 長	松 浦	洋 子	草 津 市
副 会 長	鈴 木	厚 志	長 浜 市
副 会 長	服 部	正 子	守 山 市
副 会 長	大 橋	義 男	東 近 江 市
副 会 長	浅 野	勇	湖 南 市
副 会 長	永 峰	美 佳	近 江 八 幡 市
副 会 長	西 尾	典 朋	甲 賀 市
副 会 長	森 野	子 宏	草 津 市
副 会 長	増 田	多 美 子	野 大 津 市
専 務 理 事	安 田	清 明	多 賀 市
総 務 財 政 委 員 長	北 川	豊	大 津 市
総 務 財 政 副 委 員 長	目 片	信 悟	大 愛 荘 市
総 務 財 政 副 委 員 長	矢 田	充 宏	東 近 江 市
総 務 財 政 委 員	大 辻	典 子	彦 根 市
総 務 財 政 委 員	高 原	裕 子	日 野 市
総 務 財 政 委 員	辻 林	武 史	栗 長 浜 市
広 報 副 委 員 長	居 川	安 正	高 島 市
広 報 副 委 員 長	空 本	千 恵	彦 根 市
研 修 委 員 長	中 村	川 喜	大 米 市
研 修 副 委 員 長	江 常	脇 勝	甲 賀 市
研 修 副 委 員 長	戎 西	昭 義	近 江 市
監 事	橋 野	光 生	大 津 市
監 事	小 巻	お さ み	大 津 市
顧 問			
相 談			

!!くーおんやん!!



私たち大人同士が広くつながっていきことが子どもたちの安心で安全、そして笑顔の毎日へとつながることを思います。

滋賀の大人たちがひとつにながり、子どもたちを守り育てていける毎日を目指していきましよう。そして、どうぞみなさまの毎日が笑顔の毎日となりますように。

楽しもう！ 夢と希望を育む子育てを語り合おう！ 親育ちのために

このスローガンのもと、第1回通常総会が、5月24日(土) 近江八幡の男女共同参画センターにおいて、全県から評議員の皆さまが集合し開催されました。

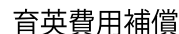
最後に、安全会の保険について説明があり、補償内容が拡充されました。

本年度も何かとご協力よろしくお願いいたします。

議長には、彦根市P連の大橋憲一氏を選出し、議事の審議を行いました。議事すべてが承認され、活動も昨年同様引き続き取り組んでいくことが確認されました。また、新役員の皆さまにおきましても承認され、新たな船出が始まりました。



学校内外問わず、夏休み期間の外出先やレジャー中の事故も補償されます。



(平日9:30
~17:00)

入賞おめでとう

第36回 全国PTA小・中学校PTA広報紙コンクール

第11回 滋賀県PTA連絡協議会幼稚園広報紙コンクール

◎幼稚園の部 優秀賞

豊郷町立豊郷幼稚園PTA
光星学園三雲幼稚園PTA

ひまわり
光の子

◎幼稚園の部 奨励賞

光星学園水戸幼稚園PTA
東近江市立長峰幼稚園PTA
湖南市立石部南幼稚園PTA

星の子
つくしんぼ
NEW Smily

◎小学校の部 優秀賞

高島市立高島小学校PTA
大津市立晴嵐小学校PTA
甲賀市立油日小学校PTA
高島市立今津北小学校PTA
高島市立マキノ北小学校PTA
高島市立今津西小学校PTA

ふれあい
晴嵐
あぶらひ
はこだて
こだま
わかずぎ

◎小学校の部 奨励賞

守山市立河西小学校PTA
高島市立マキノ西小学校PTA
高島市立朽木東小学校PTA

広報かわにし
明王
こやらい

◎小学校の部 広報委員長賞

大津市立晴嵐小学校PTA

てと手とて

◎中学校の部 優秀賞

愛荘町立秦荘中学校PTA
守山市立守山中学校PTA
大津市立打出中学校PTA
守山市立守山北中学校PTA

きずな
湖風
うちで
薫風

入賞広報紙のポイント

- 表紙の目次が見やすい
- 川柳の卒業特集もいい
- 会員の悩みを取りあげる
- コラム、ある一日、先生の学生時代等
- 地域の良さをのせる
- 会員と子どものアンケート参加。
- 校長とPTA会長の対談
- 地域全域に配布のパワー
- 全会員の投稿での参加。



5月10日(土) 滋賀県立男女共同参画センターにて、講師にデザイナー河原久美子氏をお迎えし、125名の参加のもと、広報研修会を開催しました。

最初に滋賀県PTA広報紙コンクールの表彰式を行った後、河原氏による研修に入りました。『広報誌を創ろう』目指すは、『当地B級グルメ』と題したテーマに沿って、料理の手順に例えながら作成の流れのポイントについて解説いただきました。

作成のステップを、『企画』↓『紙面設計』↓『取材』↓『編集(素材作成)』↓『編集(レ』

第16回

滋賀県PTA

広報研修会



第57回

滋賀県PTA大会

平成26年12月6日(土)12:50～

場所：ひこね市文化プラザ

内容：表彰式

スマホの取組みについて 他

スマホ・ケータイについては、大きな問題となっています。関心をもち多数で参加ください。

長崎

日本PTA
全国研究大会

平成26年8月22日(金)・23日(土)

記念講演 高野 優氏
(育児漫画家)

異国情緒豊かな長崎で
集い、語らい、学びあい

大阪

近畿ブロックPTA
研究大会

「ここから ころへ」

平成26年11月4日(火)

大阪国際会議場にて

記念講演 「人生、負け勝ち」

柳本晶一氏(元バレーボール全日本チーム監督)

地球の未来にできること。
マングロープ「海の森」づくりは、
その答えのひとつです。

東京海上日動は、1999年度からNGOをパートナーに、地球温暖化の抑制に役立つマングロープの植林をはじめました。それから10年、「海の森」は5,000haを超える面積にひろがりました。マングロープ「海の森」づくりは、東京海上日動が地球の未来にかけた保険。100年間植林を継続することを目指し、取り組んでまいります。
*「マングロープ植林行動計画」(財団法人オイスカ)(1999年度～)「国際マングロープ生態系協会」(2009年度～)

東京海上日動火災保険株式会社
東京都千代田区丸の内1-2-1 〒100-8050
☎0120-868-100 午前9時～午後8時(平日・土日祝とも) <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

育てたいのは
子どもたちの未来。

「高校生国際交流プログラム」協賛
「いじめ防止標語コンテスト」開催
「エコキャップ推進協会」への支援
「がん健診企業アクション」への参加
「新日本フィルハーモニックオーケストラ」協賛 ほか

AIU損害保険株式会社 神戸支店
〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-3-3
問合せ：078-360-2401 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

「中学生にケータイを持ち さない運動」の取り組み

彦根市立西中学校



見出しのように「ケータイを持たさない」と大きく掲げ、保護者と学校が一体となつて、PTAの運動の一つとして取り組んでいる学校がある。それは、彦根市立西中学校である。

「ケータイ」について今PTAとして考えていかねばならない時、このような取り組みをされてる西中を訪れ、校長先生からいろいろお話を伺った。

三原校長は平成十五年頃からケータイに危機感を持ち、今後ますます大きな問題となるだろうと心底危惧されていた。そんな折、町ぐるみで「携帯を持たない」取り組みをし、不登校と犯罪が激減した石川県の町があることを耳にされた。

「親が子育てに自信を無くしかけている今、親も頑張ったと言うものが必要。」
「買う買わないは親。我が子の将来、わが子の健やかな成長を願うなら、今こそ親が毅然たる姿を示すべき、立ち上がるべき」「高校のPTAがバイクの三無運動を立ち上げた。この運動と同じである。」

「子どもの命と将来を守るためケータイを持たさない運動が必要である。」
「スマホがどんなにはや

りだし「持たさないなんて無理だ」という世の流れに立ち向かうことも大切じゃないか。こういう時代だからこそ便利だけ安全をとる。石川県の町のようにな大人が立ち上がるべきだ。」

このような三原校長の思いはついに、彦根西中で実現した。保護者がこの三原校長の意見に賛同しPTAの取り組みとして動き出したからだ。もちろんPTA会長の強いリーダーシップもあったが、保護者の子どもの思う強い思いがそうさせたのである。

PTAでは夏休み前の七月と十二月に二回ケータイについてのアンケートを取られた。「持たさない運動」を始めてから夏以降ケータイを買った家はごくわずかだそうだ。

もちろん持ちたがる生徒は多い。しかし親は「あんたがかわいいから持たさないんやで、勉強も遅れるし何かに巻き込まれたら困るやろ」と話しかける。「我が子の命を守るのは保護者の責務である。」と三原校長



はきつぱりとおっしゃる。「中には持たせたがる親もいる。運動だから100%にするつもりはないが、親の危機意識が高まることを期待する。」ともおっしゃる。ケータイがあるがために夜遅い外出も認めてしまふ親が多いのも最近の傾向である。昔は、子どもの帰りが遅いと、心配で玄関先で待っていたものだ。それも親子の絆を深める一つであつたように思う。

「ケータイがもたらす弊害はあまりにも大きく親子の会話が減っているのは一例にすぎない。たしかに、ルールマナーを教えることは大切である。しかしケータイを持たせて、教えるというのは中学生の現実を見たときに、そのリスクの方があまりにも大きすぎる。」とおっしゃる。取り返しがつかなくなつてからでは遅い

のである。
ところで生徒の感想はどういうと、
「良いことだと思うけど、ほしがっている人もいるから難しい。」

三年男子
「生徒やみんながLINEをしなくなるからいい」

二年女子
「中学生にはいらないし、いい運動だと思う」

一年女子
子どもも、親の厳しさをどこかで待っているのかもしれない。

西中学校の取り組みに、改めて親としての生き方を考えさせられた気がした。

他に興味深いお話を聞きましたので紹介します。

■西中へ行くプロジェクト、部活親子対決

野球部で親子対決が行われ1勝1敗。バスケット部は親の勝利。吹奏楽部は、部員、保護者、教師が合同練習をし、3月の春のスプリングコンサートを実施、お年寄りや子どもたちをはじめ、地域の方に、聞いていただいた。保護者が子どもたちを活気づけようと頑張っておられる。

■生徒会役員とPTA役員の語る会

生徒会のリーダー研修会にPTA役員も参加

し、意見交流とプレゼンテーションを実施。

■親子で命の授業

親も子も講演を聞いた後、命をイメージした絵を描いて交流。各家庭でも描いた絵をもとに、親子の会話が弾んだそうだ。

■地域で中学生が活躍

地域での催し物があつた時は、中学生がスタッフとして協力する。地域から褒められ子どもたちは育っていく。

よく学校が変われば子どもが変わるといわれるが、PTAが変われば学校が変わるということを目の当たりにした学校訪問だった。静かで、生徒たちは学習に専念している様子で、出会う先生方皆さん礼儀正しく挨拶してくださる気持ちよく西中を後にした。

編集後記

昨年度は、「地域連携を広めていこう」というテーマで地域とPTAや学校が一緒になつて子どもを育てる、連携していく様子を伝えしてきました。

近頃、「スマートフォンの普及」によりスマホによる子どもたちを取り巻く問題が大きくなってきました。そこで今回は「スマホの問題について発信していきましょ」をテーマに座談会や、学校訪問など「生の声」を大切に特集しました。答えはなかなか出ないけど、話題を発信していくことも広報の役目と考えます。子どもの将来のため、子どもが健やかに育つように、それぞれの地域で、PTAで学校で何かアクションが起こることを期待します。

心のきずな 61キャンペーン
～守ろう 子どもたちの笑顔と未来～

「被害を受けた子どもたちの教育支援」を目的とする日本PTAの募金活動に参加してきました。
本当の支援はこれから！今後も取り組んでいきます！
ご協力よろしくお願ひいたします。

滋賀県PTA募金総額 17,606,979円
(平成24年3月15日～26年3月31日分)

*** PTA安全会より ***

PTA行事参加中に事故が起こったら…
各単位PTAを通じ下記へご連絡ください。

AIU損害保険株式会社
取扱代理店
(株)アーク・スリー・インターナショナル

〒520-0051 大津市梅津一丁目3-25 大津駅前1st森田ビル4F
TEL (077) 527-6623 FAX (0120) 527-606
(平日・9時30分～17時まで)

滋賀県PTAホームページ <http://www.shiga-pta.jp/>